

行事報告書(自主活動)

報告者: 仲谷貞夫

行事名	甲山探鳥会 11 月会
実施日時	2023年 11 月 2 日(木曜日) 9:40~12:20 天候: 晴 気温 22℃
場所	武庫川左岸一帯
参加人員	MNC 15 名、一般参加 7 名 計 22 名
参加者	MNC 今西、松生、青山、笠間、沼田、吉田、西岡、藤裏、池田、三仲、山本、森永(由)、森本、森永(啓)、仲谷 一般参加 遠藤、黒田、曳野、松浦、山田夫妻、榎本
観察鳥	鳥数 27種 オカヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、カワアイサ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イソシギ、オジロトウネン、ミサゴ、トビ、ハイタカ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ
観察概要	<p>今回武庫川左岸コースは過去 2022 年 1 月に初めて計画したもののコロナ禍のため各自で行うソロ観察となり、甲山探鳥会としては初めての開催場所となりました。西武庫公園に集合し、朝ミーティングの後、公園内歩きから開始しました。</p> <p>歩き始め、目前にモズが高木の梢で出迎えてくれました。そして堤防の近くまで歩いた時、前方でカラスやハトが騒ぎ立てています。見ると 10メートル程先の地面でハイタカがハトを両脚で捕捉している場面に遭遇。皆が「何、何！」と声を上げて駆け寄ったのでハイタカは獲物を置き去りにして飛び立ってしまい残念ながら撮影や、じっくり観察するチャンスを逃すことに。まさに突然の事件でした。さらに事件現場の上空には同じく猛禽類のミサゴが円を描いて舞っており幸先の良い観察会スタートとなりました。</p> <p>この後、当初の河川敷を川上へ歩く計画を変更し、川下に少し歩き、堰堤横での観察をすることにしました。堰堤には 20羽を超える鳥達が休んでおり、ヒドリガモ、コガモ、オカヨシガモ、カワウ、ダイサギ、コサギ、カワアイサなどをまとめて観察出来ました。さらにオジロトウネン 5羽が堰堤下にいる事を先客のバーダーさんが教えてくれました。遠くて識別が困難ですがトウネンとは尾の端が白く、脚が黄緑色なので区別出来るとのこと。かなりレアな鳥に出会えてラッキーです。</p> <p>その後引き返して、ハクセキレイが飛び交う河川敷を川上に歩くと、姿は見せないのですがジョウビタキのヒッ！ヒッ！と鳴く声が絶え間なく聞こえていました。この季節の風物コスモスが風に揺らぐコスモス園横のアキニレの林間では、いつものように群れているカワラヒワの集団にも出会いました。川面に見られる鳥数は例年より少なく一寸物足りない感がありましたが 12時過ぎには鳥合わせをして解散となりました。</p> <p>今回、観察鳥数は 27種と何とかリーダーが目指していた数となり、参加者も多く、上天気で気持ちの良い野鳥観察会となりました。 (記 仲谷)</p>
	 <p>堰堤近くでの観察</p>  <p>コスモス園</p>
連絡事項	次回は12月21日(木)夙川となります。奮ってご参加ください。

観察出来た鳥

(撮影 青山さん、西岡さん)



モズ



カワラヒワ



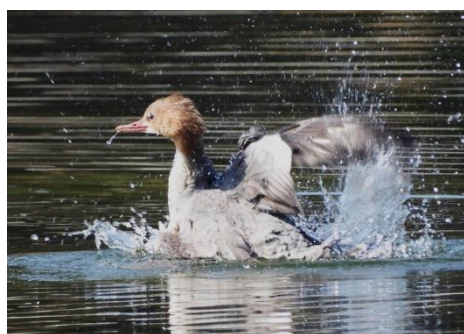
ハクセキレイ



オジロトウネン



イソシギ



カワアイサ



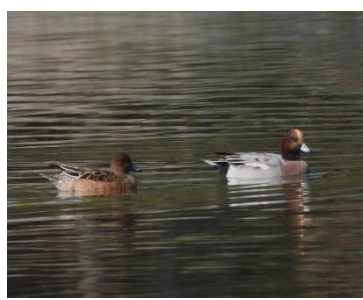
ダイサギ



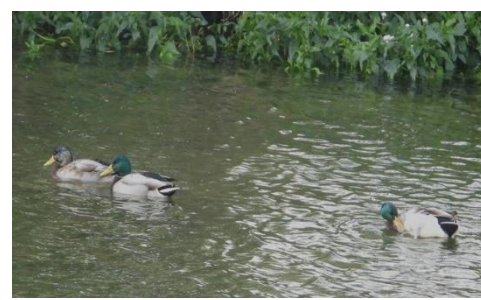
アオサギ



コガモ



ヒドリガモ



マガモ